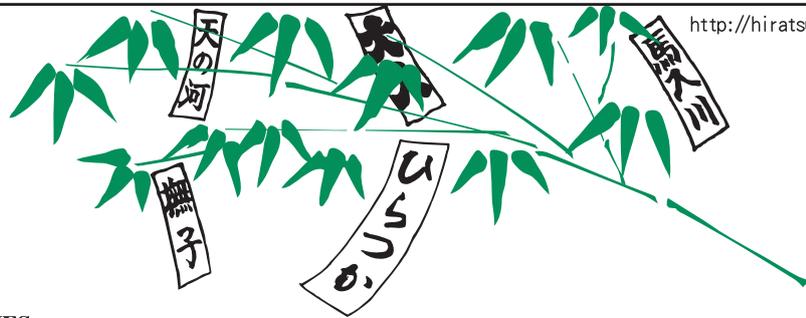




2013~2014年度 国際ロータリーテーマ  
**ENGAGE ROTARY CHANGE LIVES**  
 「ロータリーを实践し、みんなに豊かな人生を」



<http://hiratsuka-rotary.jp>

# HIRATSUKA R.C. WEEKLY

- 会長 牧野國雄 ● 副会長 常盤卓嗣 ● 幹事 清水 裕 ● 会報委員長 青山紀美代 (2013~2014年度) E-mail:hiraturc@ma.scn-net.ne.jp
- 例会日 毎週木曜日 12:15~13:30 ● 会場 グランドホテル神奈中 平塚2F ● 事務局 平塚市松風町2-10 平塚商工会議所内
- 四つのテスト 1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか

## 第2947回例会 2014年5月29日 グランドホテル神奈中 週報第2947号

### 本日の卓話者ご紹介

『家-JIA-』代表兼事務局長  
 原田 燎太郎 様



### 卓話

### ハンセン病がアジアをつなく

『家-JIA-』代表兼事務局長  
 原田 燎太郎

いま中国華南地方において、ハンセン病が「社会問題」から「社会の財産」になりつつあります。ハンセン病「元患者」が若者を育て、また日中の若者を個人レベルでつないでいるからです。

ハンセン病は伝染力の弱い感染症で、現在治る病気です。しかし、かつて有効な治療法がなかったころ、顔面や手足に変形を起こしました。それは皮膚や神経の損傷であるため、治癒後も元に戻らず、後遺症となります。そのためハンセン病は「不治の病」と誤解され、患者は恐れられ、差別され、山奥や孤島の隔離病院に収容されました。治癒後も実家に帰ることができないまま、数十年隔離されています。

これら「ハンセン病元隔離病院」(というよりは「村」)で僕らは活動しています。この活動は「ワークキャンプ」

と呼ばれています。「ワークキャンプ」では日中のボランティア20名ほどが村に1-3週間住み込み、インフラ整備やハンセン病啓発活動を行います。ひとつの村での活動はニーズがある限り継続していきます。

このワークキャンプ中、「ハンセン病元患者」と「ボランティア」が共に汗を流し、生活する中で、次第にお互いの顔が見え始めます。すると、「かわいそう」とか「社会の弱者」などというイメージだった「ハンセン病元患者」それぞれの個性が見えてきます。彼らは、人と人とのつながりを断たれ、身体が変形し、数十年隔離されていても、生きることをあきらめなかった人たちです。ある「ハンセン病元患者」は言いました、

「いま生き残っているのは、粘り強い者だけだ」。

このような「元患者」の生き様に活動参加者が向き合うとき、気づきや学びが生まれます。平成生まれの日中の学生や、仕事に追われる社会人の参加者は、活動後、家族や学校、職場において、身の周りの人たちを大切にしようになります。ある社会人参加者は自分の家族との関係を考えさせられ、20年ぶりに帰省しました。

ハンセン病隔離村でのワークキャンプという名の下に集った日中の学生の間にも相互理解が生まれます。ある中国の学生は活動参加後の感想文に「おれは日本人が嫌いだった」と書き、それが次第に変わっていく様子を描写しています。日本からの参加者の多くは、中国の学生たちのひたむきさ、純朴さに触れ、中国へのイメージを変えています。

さらに、中国で活動していた日本の学生が、大学卒業後、他のアジアの国々に活動を広げていっています。イ

### <出席報告>

本日	5月29日	会員数	61名	対象者	57名	出席者	42(39)名	出席率	70.00%			
前回	5月15日	会員数	61名	対象者	57名	出席者	43(40)名	出席率	71.67%	MUP 6名	計 49名	修正率 81.67%

インドネシア、ベトナム、インドで、地元の学生を巻き込み、地元のハンセン病隔離施設でワークキャンプを行っています。

このように、ワークキャンプは、「ハンセン病元患者」と「ボランティア」の間に「人と人とのつながり」を生み出して成長させるだけでなく、アジアの人々の間にも個人レベルのつながりを生み出しています。

この活動を今後、10年、20年、30年と続けていくとき、アジアにはハンセン病元患者と向き合ったことのある人々であふれます。彼らが、次代のアジアを創ります。

### 卓話者プロフィール

原田燎太郎。1978年生まれ。2003年、早稲田大学政治経済学部卒。

現在、中国人の妻・蔡潔珊（ツァイ＝ジエシヤン）と娘・りんぼう、息子・瀨太郎（しょうたろう）、妻の両親と共に中国広東省広州市在住。

2002年大学3年のとき初めて中国に渡り、2003年3月大学卒業直後、中国のハンセン病隔離村・リンホウ村に住み込む。2004年8月、ハンセン病隔離村の生活・社会環境の改善と若者の育成を行う非政府・非営利団体『家-JIA-』（ジア）を設立し、現在に至るまで代表を務める。

これまでに中国華南地方にある60ヶ所以上のハンセン病隔離村で活動し、日中の学生延べ1万3,000名以上が参加してきた。ここ数年は毎年2,000名の学生が活動に参加している。2014年からは社会人向けの活動も毎月行っている。

### <委員会報告>

#### ●七夕をつくる会

幹事 升水一義・常盤卓嗣・片野之万・滝口勝弘

第64回湘南ひらつか七夕まつりが7/4（金）～7/6（土）の3日間開催されます。

今年もクラブより竹飾りを掲出しようと思います。毎年の事ですが、製作費のご協賛をいただけます様よろしく願い申し上げます。

### <幹事報告>

◎湘南よさこい祭り2014 協賛の御礼状をいただきました。

協賛金の一部は「あしなが育英会」に届けられるそうです。

◎平成26年度平塚市暴力追放推進協議会総会開催のお知らせ

日時：6/11（水）15:30～17:00／懇親会 17:30～

場所：平塚信用金庫本店7F 第一会議室

懇親会場：平塚ラスカ6F「リビエラ」

\*牧野会長が出席します。

### <メイクアップ> 6名

江藤博一・吉柳恵子・常盤卓嗣・桐本美智子  
三荒弘道・鶴井雄仁 会員

### <本日のスマイル> 14名

### <ゲスト> 1名

原田燎太郎様（卓話者）

### <ビジター> 0名

### <卓話・行事予定>

6月 5日（木） 下期情報集会報告

12日（木） 第8グループガバナー補佐  
桐本美智子会員

「ガバナー補佐の一年を振り返って」

19日（木） 牧野会長卓話

26日（木） 新会員歓迎夜間例会 18:00～  
時間：18:00～20:00

場所：例会場と同じ

### <市内例会変更>

平塚西 6/25（水）⇒6/22（日）納会（移動）